

ロタウイルスワクチン予防接種のお知らせ

【対象者】

令和2年8月1日以降に生まれた児



注1) 次に掲げる方は定期接種の対象外になります

- ・腸重積症の既往歴のあることが明らかな方
- ・先天性消化管障害を有する方（その治療が完治した方は除く）
- ・重症複合免疫不全症の所見が認められる方

注2) 定期の予防接種が開始される前に、既にロタウイルスワクチンの接種を受けた対象者については、定期接種に規定された接種を受けた者とみなします。ただし2回または3回の接種を終了していない場合は、残りの回数については定期接種の対象となります。

【接種場所】 指定医療機関

【持参する物】 母子手帳・予診票

※予診票は予防接種予診票つづりに入っています。

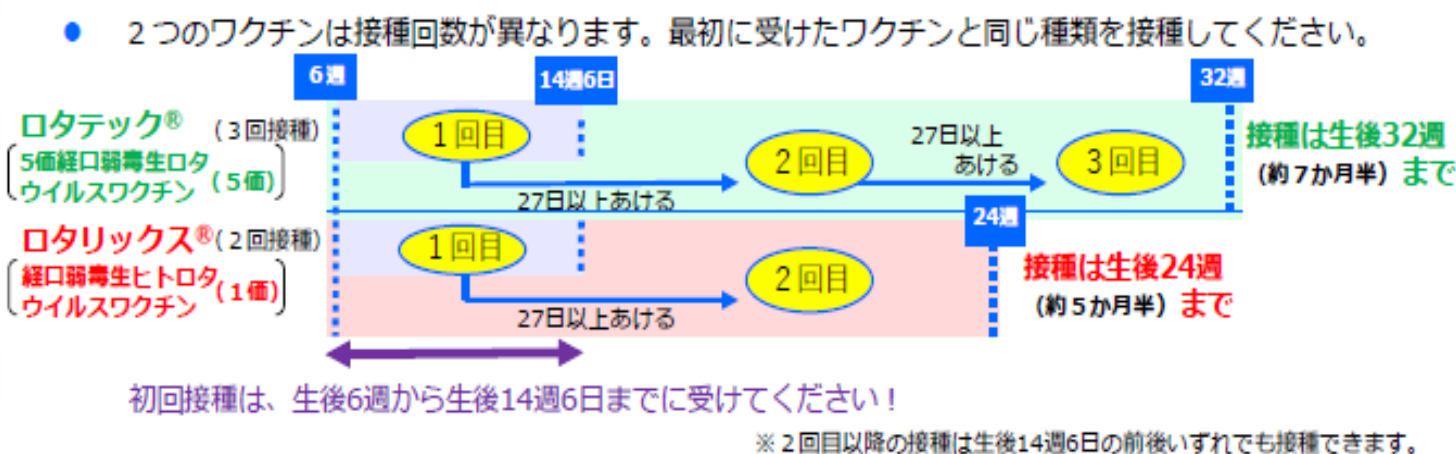
※対象者で予診票を無くされた方は、再発行しますので窓口またはお電話にてご連絡ください。

【接種費用】 無料

【接種方法】 経口摂取（お口からの接種）

【接種回数】

- 初回（1回目）の摂取は生後2か月～14週6日までになるべく受けてください。
- ロタウイルスワクチンは2種類あり摂取回数も異なります。
最初に受けたワクチンと同じ種類を接種してください。
効果は同様です。
- ・ロタリックス：生後24週までに2回
- ・ロタテック：生後32週までに3回



- 接種が24週または32週以降になる場合は、定期接種の対象外となります。

～裏面も必ずご覧ください～

【主な接種医療機関】 ●接種の際は必ず予約が必要です●

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
県立大島病院	５２－３６１１	みんなの診療所	６２－５０１０
名瀬徳洲会病院	５４－２２２２	政小児科内科医院	５２－００１７
奄美中央病院	５２－６５６５	ファミリークリニックネリヤ	５７－７１７７
朝沼クリニック	５２－０３３７	むかいクリニック	５５－１７７７
屋宮医院	５３－１１７７	記念クリニック奄美	５５－２２７１
かずや内科	５３－６０２０		

★一部の医療機関を掲載しています。
他の医療機関を希望される場合は、お問い合わせください。

◎ロタウイルス感染症とはどんな病気・・・

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児期（０～６歳ごろ）にかかりやすい病気です。主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、腹痛です。

ふつう、５歳までにほぼすべての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。脱水症状がひどくなると入院治療が必要になることがあります。５歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、４０～５０％前後はロタウイルスが原因です。

◎ロタウイルスワクチンとは・・・

ワクチンを接種することにより、ロタウイルス胃腸炎による入院患者を約７０～９０％減らすことができたと言われています。

経口摂取で口からワクチンを入れます。生ワクチン（ウイルスの毒性を減らしたワクチン）です。ワクチンは２種類あり、同様の効果があります。

【接種後は腸重積症^{ちょうじゅうせきしょう}に気を付けましょう！】

- 腸重積症は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、速やかな治療が必要です。
- ワクチンの接種に関わらず、３か月～２歳くらいの間は、かかりやすくなると報告されています。
- ワクチンの接種後（特に初回摂取後）１～２週間くらいの間は、かかりやすくなると報告されています。
- 次のような様子が１つでも見られる時は、医療機関を受診しましょう。

突然激しく泣く	嘔吐を繰り返す
便に血が混じる	ぐったりして顔色が悪い
機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す	

★月齢が進むと、腸重積症にかかりやすくなります。できるだけ腸重積症の起こりにくい早めの時期に接種をうけましょう。初回摂取を生後１５週以降に受けることはお勧めしません。

★各予防接種は、対象年齢を過ぎると任意接種（有料）となります。

注意事項

※今回、ロタウイルス予防接種の白色の予診票が
３枚つづられています。

ロタリックス（２回接種）を選択された場合
３枚の予診票のうち１枚を必ず破棄されて下さい。



【お問い合わせ先】子ども子育て応援課 予防接種係 ☎：６９－４５５５